

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 年 月 日

公表: 令和 2年 3月 31日

事業所名 多機能型障害児施設ころころ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>			日によっては、スペースの確保が狭い時がある。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		児童の状況に応じてスタッフを配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		机の角などに防止をしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		毎日、次亜塩素での環境整備を行い、スヌーズレン室などでリラックスしたり子供達の体調や状況に合わせて、部屋を分けている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>			目標設定はしているが振り返りまで出来ているのとは分らない。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		評価は全家族にさせていただけるように努めている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		月に一度研修を実施。計画は委員会によって年間で決め、外部講師に依頼し行うこともある。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		カンファレンスは定期的を実施。記録にも計画に沿った記録が出来るように書き込み用の計画書で子供達の変化を記録し、次のカンファレンス、計画作成に役立てている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		リハスタッフで遠城寺やMEPA-IIなどで発達評価を行い、ケアや計画作成などに組み込んでい	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		記録にも計画に沿った記録が出来るように書き込み用の計画書で子供達の変化を記録し、次のカンファレンス、計画作成に役立てている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			カンファレンスの実施
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			アセスメントを行い、児童に合ったやり方で実施している
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			STや音楽療法など、個別療育や利用者全体で行う活動は児童の状況に合わせて、専門職で話し合い計画している。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			朝礼にて前日の様子が確認できる。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		リーダーに対する報告のみでそれ以外はない	リーダーに対する報告を行っている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		記録にも計画に沿った記録が出来るように書き込み用の計画書で子供達の変化を記録し、次のカンファレンス、計画作成に役立てている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	担当制を導入し可能な限り担当職員が参加できるように配慮し、参加してもらっている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	一部の児童は家族を通して共有ノートがあり、情報共有に参加している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		連携しているが、情報不足を感じる。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		連携しているが、情報不足を感じる。個人の主治医との連携についてはわからない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	一部の児童は家族を通して共有ノートがあり、情報共有に参加している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	カンファレンスを行い、担当者会議に参加している。	カンファレンス、担当者会議以外は情報が少ない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	不定期だが、近隣の保育園の行事に参加させてもらっている。	不定期で偏りがある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	朝や帰りのお迎え時などに児童の様子を伝えたり、聞いたりするよう努力している。必要があれば相談員などに相談している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明し、利用される中で分からないことがあれば、適宜説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	内容によって専門職が適切に助言を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今後、定期的に保護者会の開催や、保護者向けの勉強会などを計画している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	内容について検討し、結果は家族へ伝えている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	年に一回の会報の発行を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	鍵付きのキャビネットでカルテ等保管し、写真掲載などは了承を得てから掲載している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	秋祭りを計画し、利用者、利用者家族はもちろん、近隣住民や職員家族も招いて開催している。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	避難訓練は定期的に消防署から派遣して頂き研修を行い、訓練の様子を見てもらうことで、改善点や工夫すべきところを指導してもらっている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	契約時のアセスメントで母子手帳、お薬手帳などや病院からの情報などで服薬している薬を確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	家族からの情報をもとに対応している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハットは報告されたものを月に一度まとめて、全体会議で共有し、評価している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待防止の職員が研修に参加し、年に一度全体研修で虐待についての研修を実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	身体拘束をしていない。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。